

I 研修期間

初期研修医修了後、泌尿器科を専攻する科として下記の通りとする。

- ① 検討していない場合は **6 週**
- ② 検討している場合は **12 週**

II 研修目標

- ① 泌尿器科で診察する頻度の多い症状（頻尿、肉眼的血尿など）から鑑別診断を行うことができる。
 侵襲がある治療（経尿道的尿管ステント留置術、経皮的腎瘻造設術、経皮的膀胱瘻造設術など）の適応を学び助手を務める。
 泌尿器科特有の処置（尿道カテーテル留置、用手膀胱洗浄、持続膀胱洗浄など）を行う。
 手術で助手を務め、周術期管理を行う。
 泌尿器科医に紹介すべき症例を知る。
- ② ①に加え
 前立腺針生検の助手を務め、症例を重ねたところで検査を行う。
 経尿道的手術の助手を務め、症例を重ねたところで術者を担う。
 外来で軟性膀胱鏡検査を行う。

※詳細な研修目標は別紙参照（後期研修医対象に日本泌尿器科学会が作成）

III 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
AM	病棟回診 初診外来	病棟回診	病棟回診 初診外来	病棟回診 初診外来	病棟回診 初診外来
PM	排泄ケアチーム ムラウンド	手術	手術	あづみ総合病 院手術助手	手術 職種入院患者 症例検討

※平日は毎日 8：40 から泌尿器科医師で入院患者の症例検討を行う

IV 指導医

氏名	卒業年	専門領域	認定医・専門医・指導医等
井上 善博	昭和 56 年	泌尿器科 (感染症)	日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本感染症学会認定医、ICD 信州大学臨床教授、信州大学医学部委嘱講師 日本医師会認定産業医
野口 渉	平成 15 年	泌尿器科	日本泌尿器科学会 専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本医師会認定産業医